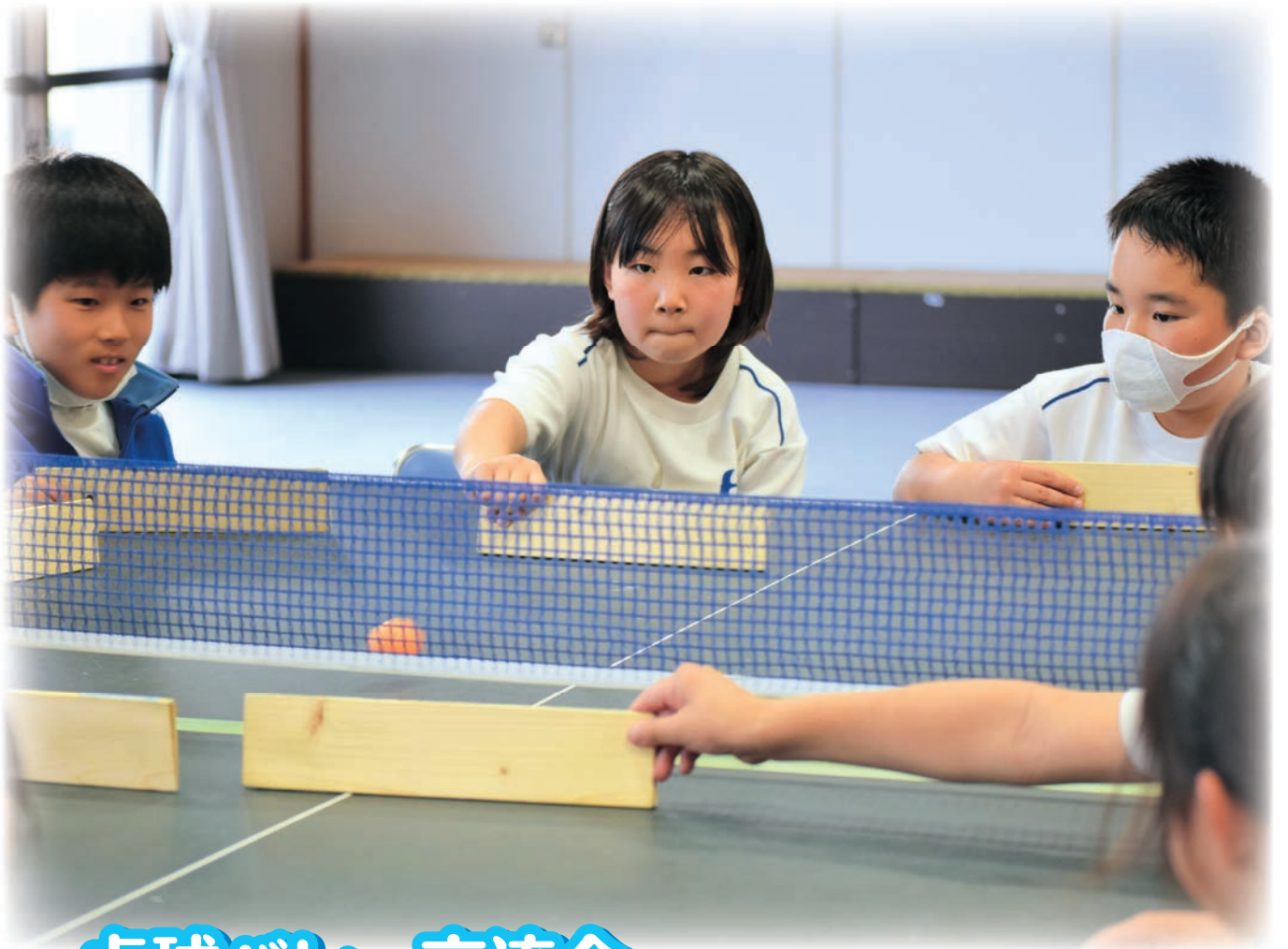


社協の輪

2023
6-7
No.208



卓球バレー交流会


▲放課後子ども教室(広石)と地域の皆様

LINE UP

- 相談支援の仕組みづくり
- 子どもランチキッチン&共感募金
- ご存知ですか? 「意思決定支援」
- 「ふくし」の人リレーコラム
- 社協会費のお願い



洲本市社協
キャラクター
「みっくまん」

 この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

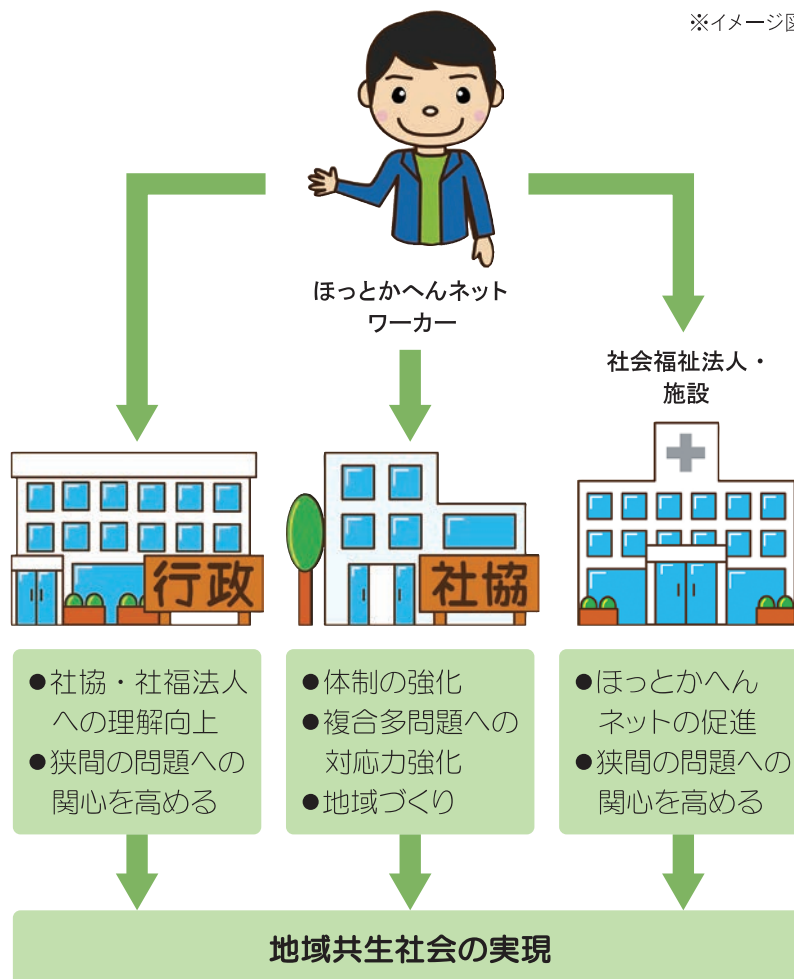
困りごとを 「受け止め」、「支える」 相談支援の仕組みづくり

今年度より、社協における生活困窮者支援の体制強化を図ることを目的に、兵庫県下の市町社協に「ほっとかへんネットワークワーカー」が配置されています。

本会にも同ワーカーが配置されており、地域・多機関と協働し、以下の取り組みを行っています。

ほっとかへんネットワークワーカーの役割

- 相談窓口でのニーズ把握
- 課題解決に向けたネットワークづくり
- ほっとかへんネット（社会福祉法人連絡協議会）活動のコーディネート



PTTAP×洲本市社協

「共感募金」

PTTAP（POWER TO THE AWAJISHIMA PEOPLEの略称）活動は、コロナ禍に「淡路島を少しでも元気に!」「共に頑張ろう!」の想いを込めたロゴ入りポスターやステッカーを作成し、全島へ応援メッセージを発信してきました。

Afterコロナも見据えてより継続的な取り組みとしていくため、令和3年5月より「共感募金」

活動を洲本市社協と協働でスタート。島内の店舗・団体に募金箱の設置と募金の呼びかけを行っており、**37,000円**の協賛金も寄せられました。ありがとうございました。



協賛者・協賛店舗（順不同・敬称略）

田中 新史 / 須ヶ原 之斗 / Bar il Cielo
DA DARIO / 淡路島ブルース
Drinker's Space Georges / Vita Rosa
シザーハンズ / 淀屋橋蔵 / 匿名

～地域交流拠点づくり～

『子どもランチキッチン』

ご協力いただいた「共感募金」は、子どもを中心とした「子どもランチキッチン」に活用されています。この取り組みは、ボランティアグループ『まんぶくキッチン』の皆さんが子ども達を中心に様々な人たちが食を通じてつながり交流を図る地域の拠点づくりを目指して毎月1回開催されています。

第10回目となった5月13日(土)は子ども16名を含む43名の参加があり、手づくりのおにぎりや肉団子などを美味しくいただきました。



ご存知ですか？「意思決定支援」

「私たちのことを、私たち抜きで決めないで～ Nothing About us without us～」という言葉聞いたことがある方がいらっしゃるかもしれません。2006年に国連で「障害者権利条約」が採択された時の合言葉です。どんなに障がいが高くても、一人ひとりに意思や思いがあります。

ご本人がご自身のことを自分自身で決められるよう、周りの家族や支援者は配慮し、見守り、できないところを手伝うということが大切です。「意思決定支援」における家族や支援者の役割は、何を提供すべきかではなく、ご本人が何を言いたいのか、何を望んでいるのかを聞くこと、知ることから始まると言われています。

本会では、「権利擁護デスク」（洲本市補助事業）を設置し、自ら意思を決定することに困難を抱える方々の日常生活を支える取り組みを進めています。

気になることや困っていること、心配なことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

成年後見・
権利擁護相談

普及・啓発

関係機関・
団体との連携

法人後見
日常生活自立支援事業



洲本市社協 権利擁護デスク（☎26-0022）

「ふくし」の人 リレーコラム①

私たちが住んでいる淡路島では高齢者人口比率が約37%と非常に高い水準です。「高齢者が多い」ということは高齢者福祉に対するニーズが高い。大きな企業が少ない淡路島で一生働くのに困らない仕事は何か…?と考えた時に「介護をしよう」と思ったのが私の介護への道のスタートでした。

高校卒業後、介護の専門学校に通い、初めて就職した先は特別養護老人ホームでした。約6年間勤め、結婚・出産を経て現在は小規模多機能に勤めています。小規模多機能とは名前の通り、小規模な人数の中でデイ・泊り・訪問と多様なニーズに対応する事業所です。1つの事業所で在宅生活を送っている利用者様・介護する側の家族様も支えることができるのが小規模の魅力です。アットホームな雰囲気の中、利用者様と個別に関わる時間も多く、楽しく仕事をしています。家族様と関わる機会も多く「いつもありがとう」「助

今回からシリーズで、市内の社会福祉法人で活躍している「ふくし」の人をリレー方式で紹介していきます。

共催：ほっとかへんネット洲本
（洲本市社会福祉法人連絡協議会）

かるわ」等の言葉を直接聞くことができ、その言葉がモチベーションに繋がっています。

高い志から始めた仕事ではないですが、今は利用者様の「ありがとう」と笑顔の為に頑張ろうと思える仕事になっています。こんなにも人から必要とされて、感謝される仕事もなかなかないのではないかと感じています。

私自身これからもっと福祉について学び、高齢者福祉に貢献できる人になっていきたいです。



社会福祉法人いちえ福祉会
小規模多機能型居宅介護事業所
いちごの家・上物部

大川 千穂（介護福祉士）

社協会費にご協力お願いします

社協は、市民の皆様を会員とする民間の福祉団体であり、会員の皆様からご協力をいただく会費を運営基盤として各種事業を行っています。

会費制度は、地域の皆様が一つの輪となって、洲本市の地域福祉を支えていくもので、福祉活動への参加の一つでもあります。是非、社協会費にご協力をお願いいたします。



会費の種類

- 一般会費（600円）：各世帯
- 賛助会費（3,000円）：社協活動に賛同いただく個人や団体
- 特別会費（5,000円）：法人や企業

～会費を活用した取組み～



▼ふれあいサロン

▲まちの子育てひろば



総合相談

- 心配ごと（何でも相談）、ボランティア相談、介護相談、権利擁護に関する相談、障がいに関する相談、不登校・ひきこもりに関する相談
（常設）月～金曜日 9時～17時

認知症を支える

- オレンジカフェ「やすらぎ学園」
毎月第1・3金曜日 10時～15時@やまて会館
- 家族の会「ごしきの会」
毎月第2火曜日 13時半～15時半@みやまホール
（6月、10月は@やまて会館）

ひきこもりサポートセンター つぼみ

- 居場所「わかくさカフェ」
毎週金曜日 10時～15時@やまて会館
- 家族の会「ハチドリの家」
毎月第3金曜日 10時～11時半@やまて会館

まちの子育てひろば

- まちの子育てひろば
毎月第2火曜日
10時～11時半@やまて会館
- プレママ&ベビーくらぶ
毎月第3火曜日 10時～11時半@やまて会館



Instagram

申込・問い合わせ先 洲本市社会福祉協議会（代表）☎26-0022

寄付のお礼（R5.4.1～5.31・順不同）

【善意銀行】

- 地域福祉のために
鳥飼浜いきいきクラブ 様……………10,000円
- 高齢者福祉のために
婦人共励会外町支部 様……………24,186円
このゆびとーまれ淡路 様……………3,600円
- 障がい者福祉のために
小嶋 朝子 様……………2,000円
- 子育て支援のために
表原 美知代 様……………2,000円

編集・発行／社会福祉法人 洲本市社会福祉協議会

本部・洲本支部 〒656-0024 洲本市山手二丁目2-26 TEL.0799-26-0022 FAX.0799-26-0021
五色支部 〒656-1334 洲本市五色町広石中90-5 TEL.0799-35-1166 FAX.0799-35-1167